

**令和5年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業
地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書**

団体名 石狩市 （都道府県：北海道）

1. 当該地域の情報（令和6年2月末現在）

地域の課題	本市在住の外国人は技能実習生を中心に毎年増加しており、出身国も多国籍化が進んでいる。2020年に実施した本市在住の外国人労働者に対するアンケート調査中、「仕事や日常生活で困っていること」についての質問に対し、「文化や習慣が違う」、「言葉が通じない」と答えた方の割合が1番目と2番目に多く、ある程度事前に教育を受けてきた技能実習生であるが、文化・習慣や言語の違いによるコミュニケーションの問題に悩みを抱えている方が一定数いるという結果となった。
在住外国人数 外国人比率	【在住外国人数】708人（総人口57,578人） 【外国人比率】1.2%
在住外国人の状況	【主な国籍と人数】 ベトナム353人 インドネシア52人 ミャンマー46人 中国28人 パキスタン28人 ネパール27人 フィリピン19人 韓国15人 カナダ7人 ウクライナ6人 ※令和5年3月末の状況 【在留資格】 技能実習1号243人 特定技能1号86人 技能実習2号77人 永住者45人 特定活動43人 技術・人文知識・国際業務41人 技能実習3号27人 家族滞在22人 日本人配偶者12人 特別永住者8人 ※令和5年3月末の状況 【滞在年数・在留期間などの状況】 出身国の多国籍化が進んでいるとともに、技能実習及び特定技能が全体の約7割を占めており、今後も増加傾向が見込まれる。
在住外国人の日本語教育の現状	平成10年10月より、石狩国際交流協会の主催でボランティアによる少人数制の日本語教室を開催していたが、教室継続が困難となり、令和3年3月に教室を終了。以降、日本語教育の機会は提供していなかったが、令和4年度地域日本語教育スタートアッププログラムを活用し、日本語教室開設に向けた検討をはじめ、令和5年度から国際交流協会とともに日本語教室（サロン）を開設。

2. 事業の内容

本プログラム取組年数	2 年目
事業の目的	本市在住の外国人は、近年石狩湾新港地域での雇用（技能実習生）を中心に増加傾向にあり、居住エリアも市内全体に広がっている。そのような中、コロナ禍で地域行事等の中止に伴い触れ合える環境が減少し、地域住民とのコミュニケーション不足も懸念されることから、日本で生活する上で文化や習慣の違い、地域のルールなどの理解を深めてもらうために日本語教育を推進し、在住外国人と地域住民の双方にとって住みよいまちづくりの形成を目指す。
事業の概要	2020年に実施した本市在住の外国人労働者に対するアンケート調査では、雇用する側される側とも言語の違いからコミュニケーションに問題があるとの回答が多くみられた一方、在住外国人の半数以上が「地域住民と交流したい」と回答したことから、在住外国人と地域住民の双方にとって、住みよいまちづくりの形成を目指すうえで日本語教室は必要であり、母国と日本との生活習慣の違いや地域のルール、マナーに対する理解を深めてもらうために令和4年度日本語教室の開設に向け検討を行い、令和5年度日本語教室（サロン）を開設した。
事業の対象期間	令和5年4月～令和6年3月
前年度の実績 （2年目以降の団体のみ記載）	事業1年目（令和4年度）は「アドバイザー派遣」のプログラム。 アドバイザー会議を5回実施し、本市にあった日本語教室の開設に向けてアドバイザーから指導・助言を受け検討。道内の日本語教室2か所（滝川市、倶知安町）を視察。その結果、本市では外国人が日本人と交流したいという意見があることから、教室タイプではなく会話交流型のサロン形式で行うことを決定。

	氏名	所属	職名	担当する役割
担当コーディネーター	竹内 真貴	NP0 法人石狩国際交流協会	事務局員	サロンの企画運営、連絡調整等
	金 娜	NP0 法人石狩国際交流協会	事務局員	サロンの企画運営、連絡調整等
	氏名	所属	職名	継続・新規の別
担当アドバイザー	神吉 宇一	武蔵野大学グローバル学部	教授	<u>継続</u> ・新規（ 2 年目）
	阿部 仁美	（一社）北海道日本語センター	理事	<u>継続</u> ・新規（ 2 年目）
	池田 誠	（一財）北海道国際交流センター（HIF）	専務理事/事務局長	<u>継続</u> ・新規（ 2 年目）

3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

（1）地域における日本語教育の実施に向けた検討体制

検討体制

意思決定

市長

連携

NPO 法人 石狩国際交流協会

石狩市役所秘書広報課

連携

石狩市役所商工労働観光課

石狩市教育委員会

報告

相談

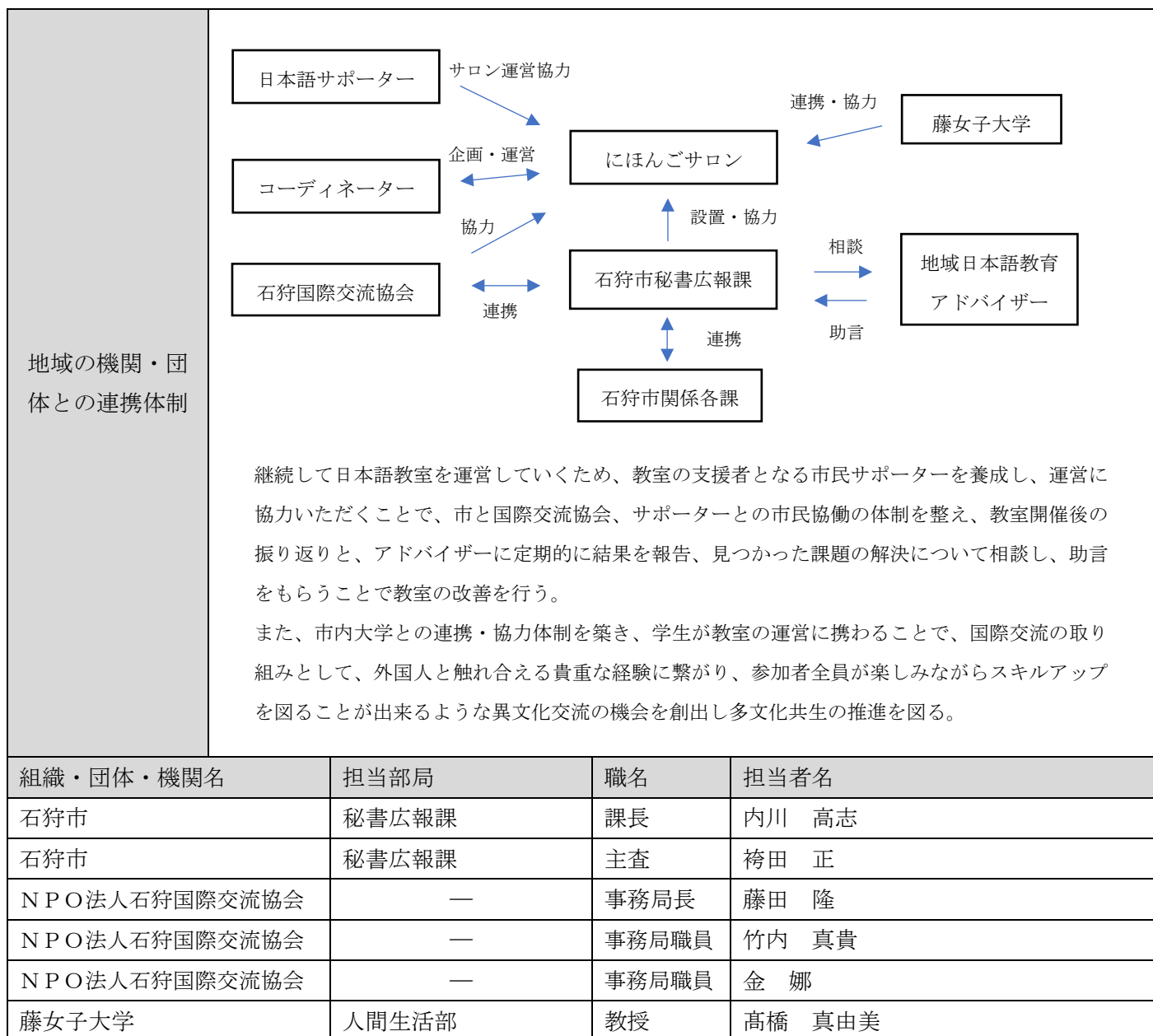
助言

地域日本語教育アドバイザー

日本語教室の開設に向け、当課を中心として、関係課や市教育委員会、石狩国際交流協会などと連携・協力を図り、在住外国人が文化・習慣や言語の違い、地域のルールやマナーなどへの理解を深めるために日本語を学ぶ場を継続的に運営していくため、外部有識者である地域日本語教育アドバイザーの助言のもとコーディネーターとともに検討を行う。

所属（担当課）	職名	担当者名
石狩市役所秘書広報課	課長	内川 高志
石狩市役所秘書広報課	主査	袴田 正
石狩市役所商工労働観光課	課長	大川 実
石狩市役所商工労働観光課	主査	沼田 慎吾
石狩市教育委員会学校教育課	課長	森本 栄樹
石狩市教育委員会教育支援課	課長	鈴木 昌裕
N P O 法人石狩国際交流協会	事務局長	藤田 隆

(2) 日本語教室の実施に向けた事業運営体制図



4. 具体的な取組内容

(1) 年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
令和5年 4月			
令和5年 5月	日本語サポーターの募集	サポーター養成講座の開設準備 にほんごサロンの開設準備	
令和5年 6月	日本語サポーター養成講座 アドバイザー会議 にほんごサロン	サポーター養成講座の運営 にほんごサロンの運営	★サロン開設について検討
令和5年 7月	アドバイザー会議 にほんごサロン	にほんごサロンの運営 事業計画の打合せ	

令和 5 年 8 月	にほんごサロン 日本語サポーター打合会議 事業計画書提出	にほんごサロンの運営 進捗管理、課題整理（前期）	
令和 5 年 9 月	にほんごサロン アドバイザー会議	にほんごサロンの運営	★前期サロン開催状況報告と後期開催における検討及びサロン視察
令和 5 年 10 月	にほんごサロン	にほんごサロンの運営	
令和 5 年 11 月	にほんごサロン	にほんごサロンの運営 進捗管理、課題整理（後期）	
令和 5 年 12 月	アドバイザー会議 日本語教育プログラム検討会	令和 5 年度事業の反省点や課題解決に向けた検討	
令和 6 年 1 月	アドバイザー会議	令和 5 年度事業の反省点や課題解決に向けた検討 ブラッシュアップ講座の準備	★事業の課題解決に向けた検討 ※来訪を予定していたが悪天候によりオンライン開催に変更
令和 6 年 2 月	日本語サポーター ブラッシュアップ講座	ブラッシュアップ講座の運営	
令和 6 年 3 月			

（２）立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称	いしかりにほんごサロンはーとふる						
外国人参加者について	〔国籍〕ベトナム 19 名、ネパール 16 名、インドネシア 10 名、ミャンマー9 名、ウクライナ、アメリカ各 3 名、カナダ、メキシコ各 2 名、中国、アイスランド、モンゴル、ロシア、パキスタン各 1 名 〔属性〕市内在住又は在勤の技能実習生や日本人の配偶者等が主な対象						
参加者数（内 外国人数）	外国人学習者 69 名 延べ 147 名 サポーター 29 名 延べ 154 名 日本語指導者 3 名 延べ 8 名						
開催時間数	総時間 20 時間			内訳 2 時間 × 10 回			
目標	市内に住む外国人が安心して豊かな生活を送ることができるよう、日本語や日本文化を学ぶ機会を提供するとともに、外国人と市民の交流の場として相互理解を深め、多文化共生の推進に資することを目標とする。						
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2023 年 6 月 22 日(木) 18:30～20：30	2	石狩市 花川北コメン ソ	31	【テーマ】 生活MAP	テーマをもとに会話を通して日本語を学ぶ	日本語指導者 1 名 サポーター 25 名

2	2023 年 7 月 13 日(木) 18:30～20:30	2	石狩市 花川北コミ ン	18	【テーマ】 国の話	テーマをもとに会話を通 して日本語を学ぶ	日本語指導者1名 サポーター18名
3	2023 年 7 月 27 日(木) 18:30～20:30	2	石狩市 花川北コミ ン	19	【テーマ】 私の一週間	テーマをもとに会話を通 して日本語を学ぶ	日本語指導者1名 サポーター19名
4	2023 年 8 月 10 日(木) 18:30～20:30	2	石狩市 花川北コミ ン	13	【テーマ】 私の好きな物	テーマをもとに会話を通 して日本語を学ぶ	日本語指導者1名 サポーター13名
5	2023 年 8 月 24 日(木) 18:30～20:30	2	石狩市 花川北コミ ン	14	【テーマ】 食べ物・料理	テーマをもとに会話を通 して日本語を学ぶ	日本語指導者1名 サポーター14名
6	2023 年 9 月 14 日(木) 18:30～20:30	2	石狩市 花川北コミ ン	15	【テーマ】 年中行事 【ゲーム】 日本の昔遊び	テーマをもとに会話を通 して日本語を学び、ゲーム で交流する。	日本語指導者1名 サポーター15名
7	2023 年 9 月 28 日(木) 18:30～20:30	2	石狩市 花川北コミ ン	12	【テーマ】 買い物 【ゲーム】 伝言ゲーム	テーマをもとに会話を通 して日本語を学び、ゲーム で交流する。	サポーター12名
8	2023 年 10 月 12 日 (木) 18:30～20:30	2	石狩市 花川北コミ ン	13	【テーマ】 病院 【ゲーム】 かるた	テーマをもとに会話を通 して日本語を学び、ゲーム で交流する。	サポーター13名
9	2023 年 10 月 26 日 (木) 18:30～20:30	2	石狩市 花川北コミ ン	13	【テーマ】 日本のルール 【ゲーム】 じゃんけん	テーマをもとに会話を通 して日本語を学び、ゲーム で交流する。	サポーター13名
10	2023 年 11 月 8 日(木) 18:30～20:30	2	石狩市 花川北コミ ン	12	【テーマ】 趣味 【ゲーム】 折り紙	テーマをもとに会話を通 して日本語を学び、ゲーム で交流する。	日本語指導者1名 サポーター12名

【主な活動】



スーパーのチラシを見ながら会話（テーマ 買い物）



問診票を見ながら会話（テーマ 病院）



日本のゲーム(かるた)を体験し交流

教室の立ち上げ に係る問題とそ の対応策	【問題】教室運営に必要な市民サポーターと外国人学習者が確保できるか懸念 【対応策】外国人支援に興味・関心のある市民や日本人との交流目的に参加を希望する外国人が多くいることがわかった。今後も参加しやすい教室になるよう周知と内容改善に努めたい。
----------------------------	--

（3）その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
------	------	----

在住外国人に対する日本体験事業	令和5年 7月～12月 (全4回)	日本語でのコミュニケーションの難しさや、日常生活での課題を抱える外国人のために、石狩や日本文化などに触れられる体験プログラムを実施し、事業を楽しんでもらうとともに、悩みや困りごとを相談できる環境を図った。 【内容】 ① 7/16 さくらんぼ狩り 参加者 28人 ② 8/ 6 浴衣体験 参加者 18人 ③ 9/10 ぶどう狩り 参加者 26人 ④ 12/9 ワークショップ（フラワーアレンジ） 参加者 16人
在住外国人に対する日常生活困りごと解消事業	未実施	外国人が抱える日常生活での困りごとである「家庭ゴミの出し方」に対して、外国人用に作成した冊子などを活用し、サロン形式で話し合いやリサイクルの流れなどを学ぶことが出来る事業を検討したが、日本語教室の中で行ったため未実施。

【主な活動】



日本体験事業（さくらんぼ狩り）



日本体験事業（浴衣体験）



日本体験事業（ワークショップ）

5. 今年度事業全体について

進捗状況	今年度は事業2年目、「アドバイザー派遣と日本語教室立ち上げ支援」のプログラムとしてスタート。日本語教室の開設に先立ち、運営に協力する学習支援者となる日本語サポーターを市民から募集。北海道日本語センターを講師に「日本語サポーター養成講座」を3回実施して、サポーターを養成した（修了者31名）。 外国人には全戸にサロン開催チラシを郵送、多くの技能実習生を持つ企業に個別連絡し周知を行い、対話交流型の日本語サロンを6月から11月まで全10回実施。生活に即したテーマで、同じような質問をサポーターと数回繰り返すことで、学習者は会話を通して日本語を学ぶことが出来た。サロン5回目終了後にはサポーター打合せ会議を実施し、後半サロンの企画にサポーターの意見も取り入れながら決定するなど、市民協働の日本語サロンとして運営できる足掛かりとなった。
事業推進にあたり問題点と対応策	【問題点】学習者の参加人数が回を重ねるごとに減少したため、安定した学習者の確保に向けた対策と、将来的にサポーター主導のサロン運営を目指した体制づくりを進めていく必要がある。 【対応策】学習者や企業への定期的な周知と参加したくなるような内容の充実を図る。また、サポーター養成講座とブラッシュアップ講座、打合せ会議や情報交換会を行うことで、サポーターのスキルアップと体制の充実を図る。
成果	日本語サロンを計画どおり全10回開催。外国人学習者延べ147名が参加し、生活に即したテーマで会話することで日本語学習のみならず、文化や習慣の違い、地域のルールなどの理解を深め、日本の遊びやゲームを行うことで日本人との交流機会の創出が図られた。また、サロンに参加したことがきっかけで関係人口が増え、学習者・サポーター共に国際交流協会行事に参加するなど、多文化共生の意識醸成に繋がり、在住外国人と地域住民双方にとって住みよいまちづくりの形成が図られている。

地域の関係者との連携による効果	外国人支援に興味関心のある市民が多く、サポーター31名を養成することが出来た。 市内の大学との連携は、今年度、大学側の体制が整わなかったことから、新年度において、大学生のサロン協力と国際交流機会の提供を図る予定である。 また、外国人受入企業等とのつながりをもつことにより、今後のサロンの協力体制を構築することができた。
コーディネーターの主な活動	① サポーター養成のための調整（30H） ② 日本語教室開設及び運営のための調整（60H）
アドバイザーの主な助言	・外国人と日本人とのつながりや交流、相互理解の場としては、現在のサロンでは実現できているので、日本語習得を少しでも盛り込むのであれば活動に工夫の余地はある。 ・サポーターの意見も取り入れ、会話以外にもサロンでの役割を持たせることで自分も運営に関わっているという自覚が出て、今後の自主運営につながっていける。 ・人を集めるには楽しみがあったり、来たら何かもらえるなどの特典があると集まりやすい。大学生など若い人の参加で多様な世代・分野の方との出会い・交流があってもよい。
今後の課題	・安定した学習者の確保にむけた対策が必要。 ・将来的にサポーター主導のサロン運営を目指して体制づくりを進めていくため、現サポーターのスキルアップと新たなサポーターの養成が必要。
今後の予定	・2年目（R5年度）の実施結果を踏まえ、アドバイザーの助言やサポーターとのヒアリングを通して、プログラムの改善を行う。 ・日本語教室（サロン）の安定した継続に向け、日本人住民に対する更なる理解促進とサポーターの養成、スキルアップを図る。 ・上記の取組みを通して、日本語教室（サロン）の定期的な開催を継続する。 日本語サロン 12回実施（5～11月、月1～2回） サポーター養成講座（5月）、ブラッシュアップ講座（2月） 各3回実施 サポーター打合せ会議・情報交換会 各2回実施

本件担当： 石狩市役所秘書広報課秘書広報国際交流担当